

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 23 日現在

機関番号：23303

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23531144

研究課題名(和文) チェコ私立大学類型化のための質的指標の構築

研究課題名(英文) Construction of the qualitative indicators for the typology of private higher education institutions in Czech Republic

研究代表者

石倉 瑞恵 (ISHIKURA, Mizue)

石川県立大学・生物資源環境学部・准教授

研究者番号：30512983

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,300,000円、(間接経費) 690,000円

研究成果の概要(和文)：チェコ私立大学の教育・研究、社会的機能の多様性を調査し、私立大学全事例の量的・質的分析を通して私立大学を類型化する指標を抽出した。それは、「国際性 地域性」、「研究志向 教育志向」指標である。その指標に基づき、チェコ私立大学を「教育と研究における国際競争力を追求する大学」、「チェコにおける新規分野の教育・研究を担う大学」、「チェコの得意分野を国際競争力とする教育志向大学」、「欧州に位置付く地域としての地域再生に貢献する教育志向大学」に類型化することが可能であると示した。

研究成果の概要(英文)：I extracted the indicators which typified the Czech private higher education institutions through the quantitative and qualitative analysis of education, research and the social function in the private higher education institutions. The indicators are Regional or International and Research-oriented or Education-oriented. It has been shown that these indicators typify Czech private higher education institutions into four types. The first is the institutions to pursue international competitiveness in education and research. The second is the institutions responsible for education and research of new fields in Czech Republic. The third is the education-oriented institutions, whose fields can be the international competitiveness. The fourth is the education-oriented institutions that contribute to Czech regions revitalize as European regions.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育社会学

キーワード：高等教育 チェコ 私立大学 社会的機能 類型化 国際情報交換

1. 研究開始当初の背景

チェコでは、1998年高等教育法において私立大学設置規定が成立すると、新規専門に特化した学士課程を提供する実学性の強い私立大学や、欧州高等教育圏を意識して国際色豊かなプログラムを提供し、多くの留学生を集める私立大学など、多様な高等教育が誕生した。

公立大学も市民革命後のチェコ社会・経済の変化に呼応し、経済学部や経営学部等の学部を増設したり、学士課程を増設したりと改革に取り組んだが、学士を労働市場の共通資格とする欧州の動向、新時代の人材要求に応えるには既存の受け皿のみでは十分ではなく、私立大学への需要が高まったものと考えられる。

しかし、公立大学の歴史あるチェコにおいては私立大学の参入を受け入れがたいものとする見方もあり、私立大学が急速な発展を遂げ、チェコ社会において何らかの機能を果たしているにもかかわらず、チェコ国内における私立大学研究は進捗しない状況にあった。

2. 研究の目的

私立大学の設置者は、企業や政党、中等教育機関等多様である。その多様なパートナーシップを生かし実学性の高いカリキュラムを構築できる点が公立大学との大きな相違の一つである。しかし、実学性に偏重するゆえに、私立大学間、及び私立大学と公立大学との間には大きな質的差異が生じていることも否めない。

本研究では、多様な私立大学の教育・研究の質を可視化し、その多様性を類型化するための指標を検討し、既存の公立大学と対比させることが可能な枠組みを構築しようと試みた。すなわち、本研究の目的は、私立大学の類型化を通して、チェコにおける私立大学の社会的機能を明らかにすることにある。

3. 研究の方法

私立大学の大半はプラハに設立され、経営系専攻を提供している。そこで、私立大学を「プラハ経営系私立大学」、「地域経営系私立大学」、「その他の専攻を提供する私立大学」の3群にわけ、それぞれの大学群についてカリキュラムやプログラム等の調査を行った。現地調査、及び各大学が提示している年報、長期計画の分析を通して、私立大学設置認可以降現在に至るまでの発展の様相を量的、及び質的に検討した。また、教育・青年・スポーツ省(以降、「教育省」と略記)が5年おきに提示する『高等教育機関の教育、科学、研究、発展、イノベーションその他創造活動に関する戦略計画』や市民革命後のチェコ社会変容について記した資料を基に、私立大学発展の社会的背景を明らかにし、個々の私立大学の提示する社会的使命や特色あるカリキュラムについてその意図を分析した。

このように私立大学個々の教育・研究内容の調査を通して、私立大学の質的多様性を具体的に明らかにした。全事例の分析に基づき、多様性を類型化する指標を抽出し、私立大学を類型化した。

4. 研究成果

(1) 私立大学発展の社会的背景

職業志向非大学型高等教育機関として設置認可が開始されて以来10数年が経過した現在、私立大学はチェコ社会において果たす役割を明確に描きつつある。そこには3つの促進要因が働いている。

第一に、チェコ社会の資本主義化、国際化が高等教育に求めるものの実態がようやく明確になってきた点である。それは、第三次産業の拡大、中小企業の増加、従来の産業分野における新しい知識技能(人間理解、資産運用等)に対処することであり、経営や法律、心理学、教育、福祉等の分野において、実践に還元できる教育と現職者の再教育を担うことである。また、資本主義化、国際化進行の壁となる地域を欧州の地域として再生させること、地域人材育成が大きな課題として認識された。

第二に、「大学=公立大学・修士課程」という伝統的社会認識である。公立大学は、2004年に新設された非大学型2校を除き、すべて大学型高等教育機関である。表1に示したようにチェコの歴史ある公立大学は、自らを研究大学とみなし、実践志向教育の導入には消極的である。歴史の浅い私立大学が、社会的評価を得るためには、学士課程を提供する非大学型高等教育機関から、修士課程、さらに可能ならば博士課程を提供する大学型高等教育機関へと昇格し、公立大学の持つ条件を備える必要がある。そのために、私立大学は第一に示した領域における研究を確立しようとしている。

表1 公立大学の自覚する社会的使命

大学名	自覚する社会的使命
(A)カレル大学	最高の質の基礎研究(学士課程学生を増やさない)。
(B)マサリク大学	国際的尊敬を集める研究。
(C)チェコ工科大学	ヨーロッパの研究大学。得られた知見と技術を社会に還元。
(D)経済大学	修士、博士課程(学問的カリキュラム)でのエリート養成。
(E)西ボヘミア大学	地域において研究をリードする主幹大学。

(注)社会主義期の専門大学を起源とする公立大学(E)は、地域産業と関連した研究を行う地域貢献型研究大学であることが多い。

第三に、教育省は、私立大学が社会的使命を認識して自らの強みを模索し、そのエクセレンスを達成するよう促している点である。私立大学は100%学納金によって運営しており、国家からの助成金は受けていない。した

がって、私立大学運営は国家からの統制は受けないのだが、スタディ・プログラムは、学士課程であれば6年毎に認可更新が必要であり、その都度地域の雇用団体の視点を踏まえてスタディ・プログラムの正当性が精査される。特に、教育省の優先領域が2000年の「高等教育拡大」から、2011年には「質」に移行し、私立大学には労働市場が求める質の高い人材を輩出することが要求されている。すなわち、社会的需要に応えることを社会的使命としてそのカリキュラムを構築し、一層のエクセレンスを達成することは私立大学にとっての生き残り問題なのである。

これらの促進要因を背景に、私立大学は社会的需要に応えることを第一義とし、その上で他大学と差異化した強みをもつ大学へと多様に発展している。以下では、その多様性を量的・質的に分析した。

(2) チェコ私立大学発展に関する量的考察 私立大学の専攻

表2は、3つの私立大学群、すなわち、「プラハ経営系私立大学」、「地域経営系私立大学」、「その他専攻私立大学」それぞれの機関数を設置年毎にまとめたものである。

表2 設置年別私立大学数

設置年	経営系 プラハ	経営系 地域	その他
～2001	10	7	4
～2005	4	6	4
～2013	2	4	2
計	16	17	10

私立大学規定成立直後の新設ピーク時(1999 - 2001年)には、経営系私立大学はプラハに設置される傾向にあったが、その後地域の経営系私立大学が増加した。2002年から2013年にかけての新設はプラハでは6校であるのに対し、地域は10校である。また、表3に示したように地域経営系私立大学では主な専攻は「経営」の大学が多い。

表3 経営系私立大学の主な専攻

所在地	経営	金融	旅行	情報
プラハ	5	2	3	2
地域	12	1	1	0
所在地	法政	国際	運輸	計
プラハ	2	2	0	16
地域	2	0	1	17

一方で、その他専攻を提供する私立大学、すなわち、人文、文芸・メディア、心理学・教育学等の専門を提供する私立大学は、10校中8校がプラハに設立されている。なお、私立大学には、工学、農学、医学等の理系分野を提供する大学はない。そのような分野は公立大学にしか設けられていない。

以上により、プラハと地域とでは私立大学に対する社会的需要が異なること、地域にお

いては経営に関する教育需要が高いことがわかる。

私立大学の所在地

表4では、プラハ以外に設立された私立大学の所在地を公立大学との比較で示した。ブルノ、オストラバ、オロモウツ、チェスケー・ブデヨビツェはすでに公立大学が設置されている比較的大きい産業都市である。この4都市以外の「その他地域」に含まれる10地域(「経営系」8地域と「その他専攻」2地域)は、私立大学の設置によって初めて高等教育基盤を得た地域である。

表4 私立大学の所在地(プラハ以外)

所在地	私立大学		公立 大学
	経営系	その他専攻	
ブルノ	6	0	5
オストラバ	1	0	2
オロモウツ	1	0	1
チェスケー・ブデヨビツェ	1	0	2
その他地域	8 ¹	2 ²	7 ³

¹ コリーン、クノピツェ、ズノイモ、ムラダー・ボレスラフ、カルロビ・バリ、トジェビツェ、プシェロフ、ハビーショフ

² ビーセック、テレジーン

³ フラデツ・クラークベ、リベレツ、オパヴァ、パルドビツェ、ズリーン、イフラバ、ピルゼン

すなわち、私立大学は地域における唯一の高等教育基盤、あるいは数少ない高等教育基盤の一つとなっているケースが多い。

(3) 私立大学発展に関する質的考察

私立大学の共通点

非大学型高等教育機関の学士課程は、設置認可の際にフルタイムの学生を対象に実施する実践学習の内容と範囲を示すことが必要となる(『スタディ・プログラム認定のための申請内容に関する法令』1999)。学士課程を提供する非大学型高等教育機関としてスタートした私立大学の共通点の第一は、経営パートナーの協力を得て多彩な実習を導入している点にある。

第二に、ほとんどすべての私立大学がコンビネーション・スタディ(遠隔地教育)を導入しており、その課程は、プレゼンチャー・スタディ(通常の教育)よりも学生数が多い点である。コンビネーション・スタディでは、コンピュータ学習を中心として、スタディ・センターでの週末学習を月2回程度実施する。この課程は遠隔地の教育機会を切り開き地域人材育成に貢献するが、実は社会的認知度の低い私立大学が学生を集めるための方策でもあり、通常の教育形態よりも質が低いことが問題視され始めている。

第三に、私立大学は、公立大学と同様、教育と「研究」を行うことが設置認可の条件となっている。近年、学内紀要を創刊したり、学内教員の研究活動を促進するための競争

的内部資金制度を確立したり、シンポジウムを開催したりと研究基盤を広げる私立大学は多い。しかし、私立大学における研究活動は、カリキュラムとの関連性が高い実践研究が主である。

プラハ経営系私立大学

プラハ経営系私立大学発展の様相には、2つの方向性が認められる。その一つは、プラハという地理的特性、すなわち、チェコにおける最大の国際都市であり、欧州留学生を魅了する古都であるという点を活用して、欧州学生を受け入れる国際的大学へと発展する方向性である。欧州労働市場の共通資格となる学士のみならず、国際的な教育環境やダブルディグリー、国際的企業における実習など、留学生を魅了するプログラムやカリキュラムを設けている。

表5 国際性を追求する私立大学

(a) アングロ・アメリカン大学(1999) 学士・修士 ¹
専攻 ² : 経営学、人文・社会科学、国際関係と外交、ジョンHカレイ・ロースクール、ジャーナリズム。英語を母語とする教員が大半を占めている。教授用語、学内用語は英語。ダブルディグリー課程もある。
(b) プラハ・ニューヨーク大学(1998) 学士・修士
専攻: 経営学、コミュニケーション・マスメディア、国際経済関係、心理学、IT経営、英語・英文学、財務、マーケティング。授業はすべて英語。教員は、20カ国以上からの英語ネイティブ。カレル大学、チェコ工科大学等チェコ有名大学からの教員も多数。学生は50カ国以上から。ニューヨーク州立大学の協力のもとに設置されたのでアメリカの学士(4年制)がとれる課程もある。ダブルディグリー、ボルトン大学認定の博士課程もある。
(c) 経済法律大学(1999) 学士・修士・博士(大学院)
専攻: 経済・経営、政治経済・法律、法学、政治学、社会政治・社会实践、社会学。保育から中等教育までである総合学園。シアトル市立大学とのダブルディグリー、MBA課程もある。経済研究センターを設立、学内競争資金制度によって教員の研究啓蒙に力を注ぐ。クラドノに遠隔教育のためのスタディ・センター設立。
(d) メトロポリタン大学(2001) 学士・修士・博士(大学院)
専攻: 英語学(チェコ語課程、英語課程)、人文学、国際経営(チェコ語課程、英語課程)、国際関係・ヨーロッパ・スタディ(チェコ語課程、英語課程)、メディア・スタディー、産業管理、公共法。学士課程から博士課程まで英語を教授用語とする課程がある。ダブルディグリー課程もある。7つの研究所を設立し、その研究所の一つとの協力により博士課程を運営している。アカデミック・スタッフの研究出版活動促進。バリアフリーへの取り組み。

(注) ¹ 大学名(設置年)設置課程の順に標記。

² 「専攻」は学士課程の専攻。表6, 7も同様。

表5には、国際性を強みとする経営系私立大学の例を示した。そのうち(c)と(d)は、学生数が5,000人以上(私立大学の平均的学

生数は1,000人未満)であり、博士課程を提供する大学型高等教育機関に昇格した。

もう一つの方向性は、チェコの資本主義化、欧州高等教育圏構想の実現と学士課程の導入を課題として誕生した実践的経営系専攻を提供する大学群(z)である。開設当初は実践的経営系専攻において欧州高等教育圏の共通労働資格となる学士を提供するというだけで公立大学にはないオリジナリティとなっていたが、そのような私立大学が増加した現在では、さらなるオリジナリティの創出を検討しなければならない。公立私立を合わせて32校とチェコ大学の約半数が密集しているプラハにあるがために、厳しい生き残り競争の中におかれている。

例えば、1999年に設立された金融インスティテュートは、ウクライナ、スロバキアと高等教育機会の低い東ヨーロッパを顧客としてコンビネーション・スタディを展開していたが、その課程については再認可が下りなかったため2016年には終了することになった。また、2002年に設立された国際公共関係大学は、オロモウツやチェスケー・ブデヨビツェにスタディ・センターを設け、高等教育基盤の希薄な地域の学生層を顧客としてきたが、それらの課程も再認可されずに終了する。

地域経営系私立大学

地域経営系私立大学は概して規模が小さく、修士課程の設立までは達成していない大学が多いが、地域における自らの社会的使命と強みを認識してオリジナリティを創出する地域教育志向の大学群として発展している。これらの私立大学の認識する社会的使命とは、地域の人材育成、すなわち中小企業従事者や地方公務員の資質向上を図り、地域が欧州との関係性の中でアイデンティティを築くための知的・教育拠点となることである。

表6に示したように、地域の長期的発達を視野に入れ、学際的な学びを通じた人材育成を行っている大学(g,h)、生涯学習に力を入れ、30歳以上の学生を多く集めている大学(j)、社会教育の機会を提供する大学(j)、交通網の発達していないより地方の人々に高等教育機会を提供する大学(e)等、各地域の需要に応じた独自のカリキュラムを設けている。

地域の特性を配慮した教育内容を盛り込み、大学運営にあたっては地方公共団体が支援を行っている大学(e,f,h,i)もある。修士、博士課程の設置認可が困難である場合は、学士課程後を引き受けてくれる公立大学と提携を結ぶ場合(f,i)もある。地域経営系私立大学のパートナーは、設置者のみならず地方公共団体、公官庁、公立大学と多様である。

特に、地域経営系私立大学を見る限りでは私立大学は単に公立大学のニッチではない。私立大学で学び、新しい視点で学問にアプローチする学生が公立大学の修士、博士課程に

進学する可能性を考えれば、公立大学にとっても私立大学は教育・研究の裾野を広げるパートナーとなっていると考えられる。

一方で、これらの私立大学は英語を教授用語としたり、ダブルディグリーを導入したり、単位互換制度を整備したりという試みに積極的であるとは言えない。

表6 地域の知的・教育拠点としての私立大学

(e) ヨーロッパ・ポリテクニク(1998) 学士
専攻：経営、海外通商マーケティング。修士課程は、アメリカ高等教育協会認定(チェコ認定の課程ではない)。ICTテクノロジー技能、英語運用能力のある人材を育成。ホドノン、クロムニェーツのスタディ・センターでは、初等、中等学校教員資格取得の課程を提供。
(f) ズノイモ経済大学(2005) 学士
専攻：公・社会事務部門における経済、マーケティングと経営、会計・税理士、企業経営における会計と財務。ズノイモ市がパートナー。修士は、メンデル大学、マサリク大学、ブラハ経済大学、南ボヘミア大学等提携公立大学へ。ハンガリーのセーシェニ・イストバーン大学との共同により、英語を教授用語とする修士課程もある(チェコ認定の課程ではない)。
(g) シュコダ・オート大学(2001) 学士・修士
専攻：企業経済と経営、企業経済と運営・ロジスティック、企業経済と企業財務。シュコダ社の他フォルクスワーゲンなど提携会社における実習。経営力のみならず、社会的態度、心理学、社会学、倫理的知識、情報収集能力、外国語運用能力のある学生養成。オーストリアの専門大学とのダブルディグリー課程もある。卒業生の半数がシュコダ社就職。
(h) 西モラビア大学(2003) 学士
専攻：文化歴史スタディ、長期地域開発。トジェビーツ市が設立者の一つであり、ヴィソチナ地方に貢献することが使命。文化管理、歴史的古書の管理等について学ぶのみならず、環境、生態、技術、経済等学際的な学びを経て、今まで看過されてきた地域の長期的発展を担う人材を育成する。
(i) 運輸大学(2004) 学士・修士
専攻：運輸ロジスティック、ロジスティック管理、情報管理、輸送。民間企業のデルタ設立だが、ブシェロフ市が設立に支援。博士課程へは提携している公立チェコ工科大学へ。また、チェスケー・ブデヨビツェの公立経済大学生涯学習センターを教育センターとして活用。
(j) 社会法律経済大学(2008) 学士
専攻：経済と法律、社会における経営。モラビア、シレジア地方の学生をターゲットとしている。そのうち、三分の一が30歳以上であり、遠隔地教育で学んでいる。生涯学習(再教育)拠点校であり、労働社会省、内務省、健康省、内務省により生涯学習大学として認定されている。省庁のためにキャリアアップコースを実施している。

その他専攻私立大学

人間に関わる領域(教育、福祉、医療)とメディア、芸術関係専攻、すなわち資本主義

社会に移行した後徐々に認識されるようになった新テーマ「豊かさ」、「よりよい生活」を担う専門家を養成する大学(k, l, m)である。

私立大学最大規模(学生数1万人)のコムンスキー大学(l)は、博士課程に2専攻を設置する大学型高等教育機関であり、成人教育という後進分野における研究大学となることを目指している。また、2010年設立の建築インスチチュート(m)のように、建築というチェコの得意分野において英語で授業を行う国際大学となる方向性を目指す大学もある。その他専攻私立大学においては、国際性と地域性、及び研究志向と教育志向の両極に向かう方向性が見られる。

表7 新テーマを担う私立大学

(k) 体育スポーツ大学(2003) 学士・修士
専門：より良い生活のためのスポーツ。ウェルネスを追求するバイオメディシンの分野。修士課程では、ウェルネス教育学、心理学、バイオメディシン、経営・経済等も学ぶ。
(l) J.A.コムンスキー大学(2001) 学士・修士・博士(大学院)
専攻：成人教育、特殊教育、社会・メディア・コミュニケーション、ヨーロッパ経営法律、旅行業経営、企業法規、経営学 人材育成、オーディオビジュアル・コミュニケーションと生産、映像・メディア・スタディー、保険、安全保障。基礎研究と応用研究を目指す。MBA課程もある。
(m) 建築インスチチュート(2001) 学士・修士
専攻：建築。英語を教授用語とする建築の国際大学。多様なディシプリンを建築と結びつけた学際的教育を提供。

私立大学における経営系専攻は、その需要性が単純明快であり、設置規定直後から急速に増加したのであるが、ここで述べた専攻への需要は、その後、緩やかに発生したものである。経営系私立大学の中にも、近年これらの専攻を新設する大学が多い。したがって、その他専攻私立大学群については、今後も更なる変化と発展が見込まれる。

(4) 結論

チェコ私立大学の類型化と社会的機能

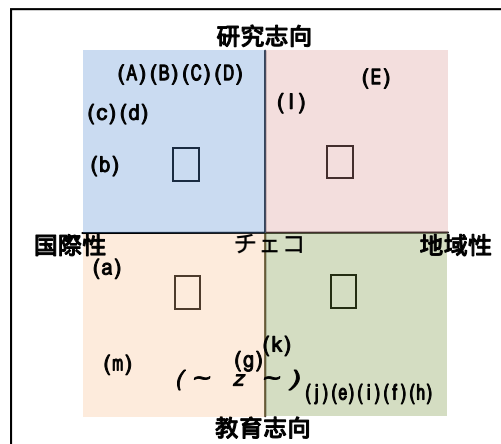


図1 チェコ私立大学類型化

以上の考察を経て、私立大学を類型化する上でのキーワードは、「国際性 地域性」、「研究志向 教育志向」であることが明らかになった。現在、私立大学はこれらの指標を用いて類型化することが可能である。図1の指標上には、表1と表5から表7で用いた大学事例(aからm、及びz、対比対象として公立大学のAからE)をマッピングしている。

指標として用いた「国際性」とは、対象とする学生、貢献する社会として留学生・国際社会を念頭におく傾向性であり、「地域性」とは、対象学生と貢献する社会として地域の学生・地域社会を念頭におく傾向性を意味している。国際性と地域性の中間地点には「チェコ」という指標、すなわち特定の地域ではなくチェコの学生とチェコ社会を対象化する傾向性をおく必要がある。

□は、国際的なカリキュラムを設けてボーダレスな教育と研究を目指す大学、あるいは教育と研究における国際競争力を追求する大学である。プラハ経営系私立大学の一部とカレル大学等数校の公立大学が属する。□は、地域産業と関連した分野、及び資本主義社会が生み出した新規分野である教育、福祉、メディアの分野において教育・研究を担う大学である。ここには、地域の公立大学が多く属するが、私立大学では成人教育分野の大学型高等教育機関であるコメンスキー大学が相当する。□は、チェコの得意分野である専門性を国際的競争力として欧州からの学生を集める大学、あるいは、国際市場で活躍する人材を育成する大学である。その他専攻私立大学とプラハ経営系私立大学の一部が属する。□は、地方産業や地方公共団体に活躍する人材を育成し、欧州における地域としての再生に貢献する大学である。主に地域経営系私立大学があてはまり、ここに属する私立大学数は多い。

□~□の関係は、必ずしも優劣関係ではなく、質的な差異である。教育省が求めているチェコ高等教育像は、□~□の大学がそれぞれの位置づけにおいてエクセレンスを達成することなのである。

問題は、図中に(~z~)として示し、位置づけが不明な多くのプラハ経営系私立大学である。これらの私立大学は現在自らのミッションと強みを創出する必要に迫られており、今後の動向に着目し続ける必要がある。また、私立大学は全体としていまだ変容期にあるので、ここで導いた私立大学の社会的機能については、継続的に検討していく予定である。なお、本研究において導き出した類型化は、今後チェコ高等教育研究を深化させるための枠組みとして有用となる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

石倉瑞恵、カレル大学の発展における社

会主義期の位置づけ チェコ人のための大学という視点からの歴史の読み直し、名古屋女子大学編『名古屋女子大学紀要』、査読無し、第59号人文・社会編、2013年、pp.135 - 147

石倉瑞恵、チェコにおける私立大学の成立と展開、名古屋女子大学編『名古屋女子大学紀要』、査読無し、第58号人文・社会編、2012年、pp.165 - 177

[学会発表](計 4 件)

石倉瑞恵、チェコ大学の社会的機能に関する比較分析、2014年7月、日本比較教育学会第50回大会、名古屋大学

石倉瑞恵、チェコ大学における産学連携・学术交流の動向、2014年6月、日本高等教育学会第17回大会、大阪大学

石倉瑞恵、チェコ大学が目指す教育と研究の理念 民主化と民営化をめぐって、2012年6月、日本比較教育学会第48回大会、九州大学

石倉瑞恵、チェコ私立大学類型化のための指標の検討、2011年6月、日本比較教育学会第47回大会、早稲田大学

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石倉 瑞恵 (ISHIKURA, Mizue)

石川県立大学・生物資源環境学部・准教授
研究者番号：30512983